



自治協議会が 元気な地域づくりの
今、を発信

妹川地区

(No. 1)

将来に向けた 「安全・安心」へ

妹川地区は平成27年度に策定した地域計画で「豊かな自然を活かし、若者の定住と交流人口を増やす」ことを将来像とし、みんなが協議し取組を進めています。そのような中、八女市との交流

が深まる合瀬耳納トンネルの開通、県道八女香春線の拡幅工事も完成の日が近づいてきました。

一方では、少子高齢化による人口や世帯の減少が年々進み、現実的な課題として「福祉や防災」に関わる地域づくりが求められるようになりまし。一人ひとりが安心・安全に生活できるため、地域全体に参加者を呼びかけ、6月に防災訓練を実施しました。また、一人暮らしと高齢者世帯を訪問し、地域での見守り活動を推進しています。



▲いざという時に慌てないように
消火器の使い方を確認（土砂災害防災訓練）

PTA・小学校と共に 子育て、地域づくり

妹川地区の地域づくりは、以前の公民館制度の時からPTA（学校）と一緒に進められてきました。今でも自治協議会とPTAが一体となり取組を進めています。代表的なものとして、「小学校の運動会」と「ふれあい福祉大会」を午前と午後に分けて開催し、地域と学校が一緒になり、参加できる取組をしています。この催しは妹川



▲小学生と高齢者の交流を深める
妹川校区グラウンドゴルフ大会

地区の6割程の人が参加し、楽しい1日を送ります。また、「子育てと教育を進める集い」を長年開催し、小学生・中学生・大人が発表をします。発表された内容は文集にして地域の家庭に配布し、子どもたちが考えていることを伝えていきます。

▼「自治協議会だより」では、地域の方から 寄せられた投稿や伝統行事なども紹介

妹川地区自治協議会だより
6月号

発行所 妹川地区自治協議会
会長 堀野 隆雄
2017（平成29年）
6月15日号（第38号）

草刈機を活用した荒廃地防止について
～早刈機活用を推進しています～

妹川地区のみならずおかれましては、田舎も再び一歩づつ変わっていることと想います。これからは荒廃地も早刈機で取り除き、きれいな環境を創出していくことが必要です。

妹川地区自治協議会では、今年2月の開催で取り上げましたように、草刈機・多行用草刈機を導入し、荒廃地防止に役立て、環境保全に努めることとしました。6月号では「草刈機活用を推進」を掲載し、操作の指導を行いました。

**健康報告会に
参加ください**

今年6月15日（第38号）発行の「妹川地区自治協議会だより」には、健康報告会に関する記事が掲載されています。健康報告会とは、地域の健康を維持・向上させるための取り組みです。ぜひ参加してください。

草刈機活用
草刈機は、広い面積も短時間で草刈ることができますが、燃料費には注意が必要です。1時間あたり10アール以上は処理でき、ガソリンが少なくて済みます。

草刈機の手入れ
草刈機は、定期的なメンテナンスが必要です。特に、刈刃の調整と油切れの確認が重要です。

**「海」と「海苔」に
関心を求めよう**

妹川地区には、豊かな自然環境があります。その中でも、海苔の生産は重要な産業です。ぜひ、海苔の魅力を再発見してください。

「防災グッズ」

災害発生時のために、防災グッズの準備は必須です。特に、食料・水・応急処置キットは必ず用意してください。

「海苔」の魅力を再発見

海苔は、栄養豊富で美味しい食材です。ぜひ、家庭でも簡単に海苔を干す方法を学んでください。

今後も積極的に進めていきたいのは、自治協議会が始まって以来、毎月「妹川地区自治協議会だより」（A3判・両面刷）を発行して各家庭に配布していることです。内容は自治協議会の取組を詳しく紹介する他、地域の出来事や福祉・防災に関すること、妹川の歴史や投稿など地域の方に知っていただきたいことを載せています。この自治協議だよりを通じて、すべての人が活動を理解していただき、繋がりのある地域づくりができるよう願っています。

●問合せ 市民協働推進課 コミ
ユニティ支援係TEL 7554982